

單元名

「秘密ポケットでクイズラリーをしよう」

せっちゃんざいの今と昔

1 日 時 令和7年 11月 14日 (金) 1校時

2 学年・学級 第3学年4組 (29名)

3 本単元で付けたい資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報との関係について理解できる。【(2)ア】	○目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。【C (1) ウ】 ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 【B (1) イ】	○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合うとする。

4 付けたい資質・能力に関する児童の実態

- 「読むこと（説明的な文章）」の領域に関わる学習について、レディネステストを実施した結果は以下の通りであった。

内容項目	正答率
問われていることに対して、問い合わせる答えの段落を見つけている。	86%
問われていることに対して、見つけた言葉や文章を自分の言葉で短くまとめている。	46%

多くの児童が、問われていることに対して答えとなる段落がどこかを見付けることができていた。しかし、問われていることに対して、自分の言葉で短くまとめたり、問われている形に文章を少し変えたりすることは難しく、重要な語や文を見付け、補いながら文章を再構成する力が不十分である。

- 「書くこと」の領域に関わる学習として、1学期に作成した「わたしの説明文」からは、次のような実態が分かった。

内容項目	到達率
自分の伝えたいことが明確になっている。	100%
伝えたいことに合わせた内容のまとまりが考えられている。	46%

自分の伝えたいことは明確になっているが、伝えたいことに合わせた内容を組み立てることが難しい児童が多くいた。伝えたいことに合った例を取り上げたり適切な理由を述べたりすることに課題があり、考えとそれを支える理由のつながりがあるかどうかを意識して構成を考える力がまだ十分に身に付いていない。

5 指導観

【授業づくりの柱】

- ① 児童の実態を踏まえた「指導の工夫」をする。
- ② 児童の自己表現の力を高める「伝え合いの場」の工夫をする。
- ③ 児童に付けるべき力を明確にし、達成するための「単元づくり」の工夫をする。

○ 第1次では、教師が作成した「秘密ポケット」と名付けた身の回りにある道具の魅力が伝わるクイズとその解説を提示して、道具クイズを行い、興味関心を高める。また、「秘密ポケット」を作成するためにどのような学習を行ったらよいかや、どんな力を身に付けたらよいかを話し合いながら学習計画を児童とともに立て、単元の見通しをもたせる。第4次では、身の回りにある道具の「秘密ポケット」を作成し、全校のみんなでクイズラリーを行うことを児童と共有し、相手意識をもって学習に取り組めるようにさせる。また、クイズやその解説を作る際は、調べたことをそのまま書き写すだけではなく、「要約」する必要性があることを伝え、単元の見通しをもたせる。

○ 第2次では、まず、文章の大まかな内容を捉るために、「始め」「中」「終わり」の三つのまとまりに分ける活動を行わせる。既習の「自然のかくし絵」の学習で組み立てを考えたことを振り返りながら進める。その後、「中」の部分をさらに三つに分ける際には、接続する語句や指示する語句に着目させたり、内容のつながりに着目させたりすることで、内容のまとまりとしてのつながりや切れ目に気付かせる。新幹線プリントを活用して、まとまりごとに題名をつけ、大まかな内容を視覚的に捉えやすくし、一目で文章の構成を捉えられるようする。また、段落相互の関係を捉えさせるために、筆者の主張と例が合っているかや、例を提示している順番はなぜ「米のり」→「にかわ」なのかを議論させる。

○ 第3次では「中1」「中2」「中3」のまとまりごとに接着剤の「秘密ポケット」を作成し、大切な言葉や文章を抜き出し、情報を整理させる。筆者の主張と関連させ、「接着剤の特徴」「使われ方」「接着剤の良さ」の三つの視点から キーワードを抜き出し、内容を具体的に捉えさせる。適切な語や文を抜き出させる際は、何が一番適切か考えさせるために、理由をしつかり出させる。また、「書くこと」の学習活動で用いる視点と同じポケットを使用することで、学習のつながりを意識して学習を進められるようにする。難しい語句については、実物を提示したり、動画や写真を見せたりして、児童が具体的にイメージしやすいようにさせる。さらに、ポケットごとに接着剤のすごいところを具体的に書かせ、次の学習に繋げやすくする。

その後、これまでの学習で作成したポケットを元に、接着剤について1番すごいと思ったところを紹介するための要約文を作らせる。まず、要約するために必要な文章を、一枚もの教材から抜き出させ、大事な言葉に印をつけさせる。その際は、伝えたいことと、つながりはあるか、選んだ言葉や文章に不足はないかなどの考える視点を示し、必要な言葉や文章だけを抜き出せるようにさせる。また、同じ考えの人同士でグループを作り、考える視点に沿って話し合いをさせる。さらに、要約文を書くときは、抜き出した語や文章を使って、40字以内にまとめさせる。伝えたいことの中心が分かるように要約するためには、1文目と2文目のつながりを意識したり、言葉を削ったり補ったりするとよいことなどを伝え、考える視点とする。また、朝学習でいろいろな文学的な文章（物語）や説明的な文章を読み、大事な言葉や文章に着目させたり、あらすじを考えたりする経験を積ませることにより、資質・能力の育成を図る。

要約した文章を紹介し、感想を伝え合う際には、その視点として、相手が接着剤のどんなところをすごいと思ったのか、そのすごさを伝えるためにどのような言葉や文章を使ったのかなどに着目さ

せるようになる。また、要約文の似ているところや違うところにも着目させ、同じことに興味をもつても、取り上げている言葉や文が異なる場合もあることに気付かせる。

- 第4次では、身近な道具の秘密ポケットを作成する活動を行わせる。まず、インターネットや本などから道具についての情報を収集させる。その際、調べたい項目をあらかじめ全体で考え、(歴史・材料・作り方・使われ方・良さなど)スムーズに調べ学習に取り組めるようにする。

次に、調べたことの中から、自分が一番伝えたいと思った道具の魅力は何かを明確にさせる。その魅力を分かりやすく相手に伝えるためには、何をクイズにしたらよいかや、クイズの解説として、どのような項目を上げたらよいのかを考えさせる。考える視点として、答えとなる項目を上げたり、二つ目のまとめには一つ目の文章を詳しくする項目を上げたりするとよいことなどを伝え、読み手を意識して段落相互の関係を考えられるようにする。

さらに、ペアトークを通して、クイズが決まつたら何が知りたいかなどを質問して、項目を考えるときのヒントとさせる。また、情報を要約して整理するときには、「まず」「次に」「最後に」などのつなぎ言葉を使って説明したらよいことなどを伝え、一文が長くなりすぎないようにさせる。最後は、学校に秘密ポケットを掲示し、全校でクイズラリーを行えるようにする。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【(2) ア】	○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 【C (1) ウ】 ○「書くこと」において、内容の中心を明確にし、内容のまとめで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 【B (1) イ】	○進んで、内容の中心を明確にして段落構成を考え、今までの学習を生かして、自分が伝えたい道具の魅力を紹介しようとしている。

7 単元の展開 (全 18 時間)

次	時	学習活動	評価規準・評価方法等
第 0 次	0	○「要約」の意味を学習する。 ○教師が作成した秘密ポケットを用いて、要約の必要性や要約への興味関心を高める。	
第一 次	1	○教師が作成した秘密ポケットを使用して、道具クイズを行い、単元の学習の見通しをもつ。 ○接着剤についての前知識として、映像教材や実物を見せたり、うるし、にかわ、米ののりなどのクイズを行ったりし、興味・関心をもつ。 ○単元のゴールを確認・共有する。 ○学習計画を立てる。 身近な道具の秘密をまとめ、クイズラリーを開催しよう。	

第 二 次	2	○文章の構成を捉えて、五つのまとまりに分ける。 ○ポケットは何枚にするかを考える。 ○筆者の主張と例が合っているかや、例を提示している順番はなぜ米のり→にかわなのかを議論する。	【知識・技能】 新幹線プリント ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報との関係について理解している。
	3	○【中】に書かれている内容を【中1】【中2】【中3】に分けて接着剤の秘密ポケットに整理する。(特徴・使われ方・良さの三つの観点に基づいて)	【思考・判断・表現】 接着剤の秘密ポケット・オクリンク・要約プリント ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 【C(1)ウ】
	4 5 6 7	○興味をもった部分の大事な言葉や文に着目して、要約文を考える。(本時) ○要約した文章を紹介し、読み合う。	
第 三 次	8 9 10	○紹介したい道具を決め、調べる項目を全体で確認する。 ○情報収集をする。	【知識・技能】 秘密ポケット ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報との関係について理解している。
	11 12 13	○自分が一番伝えたい道具の魅力を明確にする。 ○クイズにする内容や、解説の項目などの構成を考える。	【思考・判断・表現】 秘密ポケット ・内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 【B(1)イ】
	14 15 16 17	○クイズを作成する。 ○推敲し、読み合う。 ○クイズラリーをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ノート ・進んで、中心となる語や文を見つけて要約し、学習の見通しをもつて、自分が伝えたいたい道具の魅力を紹介しようとしている。
	18	○単元を振り返る。	

8 本時の学習

(1) 目標

自分が興味をもった内容を伝えるために大事な言葉や文を見付け、要約文を考えることができる。

(2) 評価方法

授業中の発言、要約プリント、オクリンク

(3) 学習の展開（6時間目／全18時間）

学習展開	学習活動	指導上の留意点・支援【評価】
つかむ	<p>1 単元のゴールで何を作るかを確認し、クイズの解説文を作るときに大切なことは何かを考えさせる。</p> <p>C : 長い文章ではなくて、短くて読みやすい文章がいい。</p> <p>C : 短いけど、大事なことは入れないといけない。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>⑥自分がすごいと思ったことを要約するために、大切なことは何だろう。</p> <p>3 本文の中のどんな接着剤をすごいと思ったのか（すごいところ）を確認し、なぜすごいと思ったのか（すごいポイント）を出し合う。</p> <p>T : どんな接着剤をすごいと思いましたか。</p> <p>C : 私は、飛行機や電車に使われている接着剤がすごいと思いました。</p> <p>T : すごいポイントはどんなところですか。</p> <p>C : ねじなどのかわりに使って、機体や車両を軽くできるところがすごいと思いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズの解説を作るときは、要約する力が必要であることを思い出させ、要約は短く・大事なことだけを書くことが大切だということに気付かせる。 ・要約文は、1文目が35～45字程度になるように書いていくことを伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>要約ポイント① 短くまとめる。（35～45字）</p> </div>
さぐる・みつける	<p>4 すごいポイントを伝えるために必要なキーワードを選ぶ。</p> <p>○教師が作成した例を提示し、気付いたことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次の5つの中から、すごいと思う接着剤（すごいところ）を選ばせる。また、選んだすごいところが、要約の1文目になることを確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>＜すごいところ（1文目）＞</p> <p>①飛行機や電車に使われているせっちゃんがすごい。 ②米から作られているせっちゃんがすごい。 ③にかわから作られているせっちゃんがすごい。 ④じょうざいを作るとときに使うせっちゃんがすごい。 ⑤古いものをしゅう理するときに使うせっちゃんがすごい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時では、すごいポイントを伝えるための要約文（2文目）を書いていくことを知らせる。 ・35～45字にまとめるためには、キーワードを選び、本文を短くする必要があることに気付かせる。 ・児童の気付きをもとに、要約する時のポイントを引き出す。

教師の例

＜すごいところ（1文目）
身の回りのいろいろなところにせっちゃんくざいが使われているのがすごい。

＜すごいポイント＞

体そう服のゼッケンや教科書、飛行機や電車にもせっちゃんくざいが使われているなんて知らなかつた！

＜選んだ文章＞

- ・たとえば、体そう服のゼッケンにはアイロンでくっつけるものがありますが、ゼッケンのうらには、ねつでとけるせっちゃんくざいが使われています。
- ・みなさんの持っているこの教科書も、せっちゃんくざいで何まいもの紙をくっつけて作られています。また、飛行機や電車などを作るときにも、せっちゃんくざいが活やくします。

C：先生は、たくさんの場所に接着剤が使われていることに驚いているから、どこに接着剤が使われているかを書いた方がいいと思います。

○ 必要なキーワードに印をつけ、交流する。（オクリンク）

＜すごいところ（1文目）＞

飛行機や電車に使われているせっちゃんくざいがすごい。

＜すごいポイント＞

せっちゃんくざいを使うことで、機体や車両を軽くできるところがすごい。

＜選んだ文章＞

- ・飛行機や電車は、多くの部品を取りつけて作りますが、ねじのように小さいものをたくさん使うと、それだけおもくなってしまいます。
- ・ねじなどのかわりにせっちゃんくざいを使うことで、機体や車両を軽くすることができるのです。

5 要約文を考える。

○教師が作成した例を提示し、気付い

- ・必要なキーワードを選ぶ際は、自分が考えた＜すごいポイント＞をもとにしたら良いことに気付かせる。

要約ポイント②

すごいポイントからキーワードを見付ける。

・前時までに選んでおいて文章の中から自分の考えた＜すごいポイント＞をもとに、キーワードを見付けさせる。

・選んだ＜すごいところ＞が同じ児童同士で交流し、＜すごいポイント＞と選んだキーワードが一致しているかを確認させる。

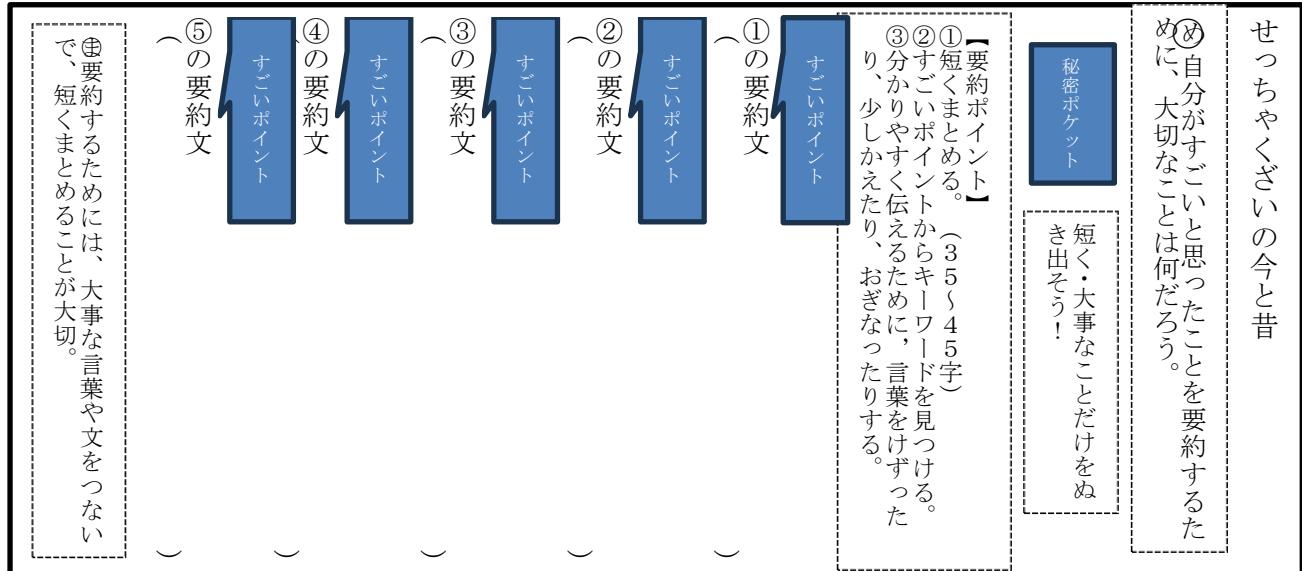
・悪い例を提示することで、より分かりやすく

	<p>たことを話し合う。</p> <p>教師の例</p> <p><悪い例></p> <p>体 そ う 服 の ゼッケン に は アイロン で く っ つ け る も の が あ り ま す が、 教 科 書 も せ っ ち ゃく ざ い で 何 ま い も の 紙 を く っ つ け て 作 ら れ て い て、 飛 行 機 や 電 車 な ど を 作 る と き に も、 せ っ ち ゃく ざ い が 活 や く し ま す。</p> <p style="text-align: center;"> 改善すると…</p> <p><良い例></p> <p>体 そ う 服 の ゼッケン や 教 科 書、 飞 行 機 や 電 車 な ど に も、 せ っ ち ゃく ざ い が 使 わ れ て い る。</p> <p>C : 何 度 も 使 っ て い る 言 葉 は 省 略 し て も 良 い と 思 い ま す。</p> <p>C : 3 5 ~ 4 5 字 に ま と め る た め に、 言 葉 を 少 し 変 え た り、 付 け 足 し た り す る 必 要 が あ る と 思 い ま す。</p> <p>○個人で要約文を考える。</p> <p>ひろがる</p> <p>○全体共有をする。</p> <p>○再度、個人で要約文を考える。</p> <p>○すごいと思ったところが同じ児童同士で、キーワードと要約文を交流する。</p>	<p>要約していくためには、どうしたらよいか児童自身に考えさせる。</p> <p>要約ポイント③</p> <p>分かりやすく伝えるために、言葉を削ったり、少し変えたり、補ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 要約ポイントをふまえて、35~45字にまとめさせる。 どのように要約したらよいか困っている児童を何人か取り上げる。 取り上げた児童の文章をより良いものに改善していくためにはどうしたらよいかを要約ポイントに沿って議論させる。 全体共有を通して話したことや考えたことを生かせるようにする。 話型を示し、何について交流するのかを明確にする。 相手の話を聞く際に、分からぬところやもっと詳しく知りたいところは、進んで質問させる。
--	---	--

	<p>【話型】</p> <p>A : すごいポイントは何ですか。</p> <p>B : ～です。</p> <p>A : どんな要約文を書きましたか。</p> <p>B : ～です。</p> <p>A : ○上手に要約ができていますね。</p> <p>△ここが伝わりにくいですよ。</p> <p>△このキーワードがいるのでは ないですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクを見せ合いながら交流することを伝える。
	<p>○自分の考えを再整理する。</p> <p>○全体共有する。</p> <p>① 飛行機や電車に使われているせつ ちやくざいがすごい。 ねじを使うと重くなってしまうた め、せつちやくざいを使って機体を 軽くしている。</p> <p>④ じょうざいを作るときに使うせつ ちやくざいがすごい。 体の中でゆっくりととけ、ざいり ょうも食べ物のため体にとって安全 なのりである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトークを通して話したことや考えたことを生かせるようにする。 <p>【大事な言葉や文をつないで、35字～45字に短くまとめている。（要約プリント）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目に確認したポイントを踏まえた要約文になっているか、確認する。 ・どの要約文も、<すごいポイント>を伝えるために必要なキーワードをつないで、分かりやすく短くまとめていることに気付かせる。
まとめる いかす	<p>6 まとめをする。</p> <p>（㊟要約するためには、大事な言葉や文をつないで、短くまとめることが大切。）</p> <p>7 本時の振り返りをする。</p> <p>C : 今日の授業で要約するときは大 事な言葉をつないで短くまとめ ることが大切だと学びました。 だから、道具のひみつポケット を作るときは、まず大事な言葉 を見付けて要約したいと思いま す。</p> <p>C : 大事な言葉や文を見つけること がむずかしかったです。しか し、○○さんが「自然にあるも ののよさの一つだから」「安 全」という言葉は必要だと教え</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東小振り返りスタイルをもとに自身の学びを振り返らせる。

	てくれたので大事な言葉を見付けることができました。	
--	---------------------------	--

9 板書計画



10 目指す児童の姿と手立て

指導の工夫	することによって	目指す児童の具体的な姿
	（本時）	（本時）
① 指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 教師が作成した例から、要約するときの基準を考えさせ、考えるときのポイントとする。 全体共有を通して、よりよい要約になるよう議論させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 要約ポイントを意識して、要約したり、よりよい要約になるように考えなおしたりしている。 大事な言葉や文をつないで、35字～45字以内に短くまとめている。
② 伝え合いの場	<ul style="list-style-type: none"> 話型を示す。（指導案本時に記載あり） 自分の考えを再整理する時間を取り、自分の考えを深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に自分の考えを伝えることができ、友達の考えをよく聞き、意見し、考えを深め合っている。 友達との交流を元に、自分の考えを深めたり、考えなおしたりしている。
③ 単元づくりの工夫	・「道具のひみつをつたえよう」と活動をつなげ、道具のひみつを調べて要約し、道具のひみつポケットで全校のみんなでクイズラリーを行うという最終ゴールを設定する。	○単元の目的を明確にさせ、児童が興味をもって、意欲的に学習に取り組むことができる。